



**青鉛筆** 

▽時は1712年、儒学者・新井白石による政治改革のころ。大坂の北部に酒造所ができた。ほのかに甘い湧き水でつくった酒は、地域に愛された。

能勢酒造提供

▽300年余りが過ぎて現在。そこは、きめ細かな泡が自慢の清涼飲料メーカーへと改革を果たす。「地域に愛されて今があります」と10代目社長。

▽その10代目、コロナで地域のイチゴ農家がピンチと聞き、イチゴを買い取りサイダー開発、販売15万本超え。「能勢酒造」の恩返し、の一巻。